

「スポットOgaki」

発行：日本共産党 西濃地区中央支部

発行年月日：2002.12.20 3号

連絡先：大垣市鳩部屋町 4

Tel : 78-6865 Fax : 73-8572

卷之二十一

第三章 看護師の認定資格の概要

「乳幼児医療費無料化をせめて就学前まで」という要望に対して、大垣市は「財政が厳しいので県に対し制度の拡充を希望していく」という回答でした。厚生委員会の各議員からは賛同の発言がましたが、なぜか継続審議になりました。大垣市の説明では、現在市が負担している額は一億一千四百万円、就学前まで独自制度を設けると一億六千五百万円の上乗せが必要とのこと。しかし、医療改悪の中、唯一乳幼児の医療費だけ改善されて二歳まで無料となり、県や市の負担は少なくなるはずです。その金額を就学前まで拡充するのに回せば、市の上乗せする額はもつと少なくなり、実施できないというほどの金額ではないと思います。

三〇人以下学級実現も継続審議に

教育委員会は少人数学級の教育効果について認めましたが、小中学校全学年で三〇人以下学級を実施するには財政負担が大きいため、困難という回答でした。杉原議員は、せめて二十六人増で可能な小学校一・二年生だけでも実施すべきと主張しましたが、公明「今のやり方で・・・」民主「団体生活ができない子どもが多いなかで、少人数にすることで更に気配りのできない子が育つ」自民「学校の問題は家庭のツケもある。財政的に難しい」などの意見が出て、これも継続審議になります。

(裏面に資料) 西濃地域の乳幼児の医療費助成・少人数学級の実施自治体

小学校1、2年での30人学級の実現には、大垣市独自でも、25人の教員増、市の負担は年間700円（大垣市民1人あたり）で可能です。

（年間1億円程度の費用）

全国では、この4月から一部でも30人程度の学級を実施しているのは、22道県もあります。

この4月から25人学級を実施している埼玉県志木市の小学校の先生のはなし

「毎日、放課後、子どもの1日の行動を振り返ると全員の様子が思い出される」「特に小さい子は個人差も大きく個人個人への対応も十分にできるようになった」など大歓迎の声が聞かれました。

実際に志木市を訪問して教育委員会や小学校の先生に聞いてきました。

お隣の愛知県の大山市でも同じような方式で、30人学級を実現しようと愛知県に要望しています。

笠松町、柳津町などでは、中学校3年まで医療費が無料になっています。大垣市では4歳までです。

岐阜県下の乳幼児医療費助成制度はこの2年間で大きく前進しました。99市町村のうち「就学前」（6歳児）以上の自治体は、70市町村になります。残念ながら、大垣市は、県の制度のみ（4歳児）で、独自の助成制度はありません。

中学校3年終了まで	笠松町,柳津町,莊川村
8歳他	真正町,福岡町,明智町(10才)
小学校就学前	岐阜市など10市54町村
4歳までで独自助成なし	大垣市,恵那市,各務原市 北方町,穂積町,洞戸村,白川村